

# 市政報告

Municipal administration report from Ishii Isamu  
第04号

松政クラブ

## 石井いさむ

発行者 松戸市議会議員 石井いさむ  
連絡先 松戸市役所  
〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5



### 2013年 新春対談

## これからの松戸市はどうあるべきかを考えるため、 渡辺ひろみち議員にお話を伺いました。



北千葉道路や外環道などの道路、JR常磐線の東京駅乗り入れなど、松戸市周辺の交通インフラが整備されつつあり、それに合わせ松戸市も刻々と変化しつつあります。このような中、市民の皆様が安心して暮らせる生活を創造していくために何が必要なのか。市議会議員として考えるべき事はたくさんあります。

ただ、市議会議員が単独で実現できる事には限りがあり、県政・国政との連携が重要になってきます。そこで今回は、昨年の衆議院議員選挙で地元千葉6区より見事当選を果たした渡辺ひろみち議員を訪ね、お話を伺ってきました。

石井

本日はお忙しい最中、お時間を作って頂きありがとうございます。本日は色々とお話をお話を伺えればと考えております。

渡辺

石井さんは市議会議員一期目ですね。

石井

はい。私は市議会議員「一年生」として、市民目線を忘れる事なく「市民自身の手で出来る事は、その活動をバックアップ」するとともに、「市民の力だけで達成できないものは、市とともに解決していく」というスタンスで頑張ってきました。でも、どうしても松戸市単体では実現できない大きな問題に直面する事があります。こういう事については、県政や国政との連携が重要と考え、本日、渡辺議員に胸を借りようと思いついたわけです。

渡辺

地域づくりのためのアクションには「点と線と面」があるのだと思います。つまり、松戸市や松戸市民の皆さんが行っている最初の試みや動きが「点」であるとするれば、それを下支えする道路や線路の整備などをはじめとした政策が「線」、そして、その結果現れる経済効果・人口増加など地域の発展が「面」なのだろうなど。これをいかに有機的に連携させていくかが成否を分ける重要なポイントです。

(裏面に続きます)